



2020-21年度クラブテーマ  
「一視同仁」～優しさを育てよう！～

2020年10月28日第2182回例会

### 夜間例会プログラム

< 第1部 >

- 18:00 開会点鐘
- ・ロータリーソング「われらの生業」
- ・会長の時間
- ・幹事報告
- ・出席状況報告
- ・その他
- ニコニコBOX 委員会報告
- 18:20 閉会の点鐘

< 第2部 >

- ・乾杯
- お食事歓談—
- ・新入会員自己紹介  
栗津増強委員長及び新会員
- ・新会員へ激励の言葉 山中歴代会長
- 19:30 お開き
- ・本日の会合(敬省略)
- <新会員オリエンテーション>
- 16:30～仙亭1F  
川島、稲田博旭、三好、甲山

### 本日の歌♪

「われらの生業」  
我等の生業さまざまなれど  
集いて図る心は一つ  
求むるところは  
平和親睦(やわらぎむつび)  
力むるところは向上奉仕  
おお ロータリーアン  
我等の集い

### ■本日の配布物

- ①10月28日週報
- ②地区大会のご案内

### ■本日の回覧物

- ①11月例会出欠予定表

### ■地区行事等出席予定(敬称略)

- 11/10～11東北訪問  
初木、國田、橘、山口尚志、白井、宮地
- 11/25ローター研究会オープンフォーラム 初木

### 第 2181 回 例会出席報告(10月21日)

総会員数	87名
出席者	37名
出席率	—

10月21日 ゲスト 1名  
赤十字血液センター 岡田知教 様



合計	¥10,000-
累計	¥431,000-



(敬称略・順不同)

\*なつかしい場所で出席できた喜びに  
藤原和彦

### 【お知らせ】

20-21年度台北国際大会  
2021年6月12日(土)～  
14日(月)参加予定

\*本会議 6月13日(日)  
\*大阪ナイト 6月13日(日)  
参加希望の方は事務局まで  
お問い合わせください!

### 今後の予定

- 11月4日(水) ■「月間に因んで」  
林宏毅 財団委員長  
ひらかた仙亭 ■3分間スピーチ 柿丸会員  
12:30～13:30 ■規定審議委員会11:00～  
■定例理事会 13:40～  
■指名委員会 14:30～

11月11日(水) 定款により休会

- 11月18日(水) ■外部卓話  
ひらかた仙亭 ■3分間スピーチ 今平会員  
12:30～13:30

- 11月25日(水) ■卓話  
ひらかた仙亭 島仲 聡 会員  
12:30～13:30 長友克由 会員  
■3分間スピーチ 安福会員

- 12月2日(水) ■年次総会「クラブ全員協議会」  
ひらかた仙亭 次年度役員理事選挙  
12:30～13:30 ■地区出向者報告  
松吉 地区青少年交換委員  
川上 地区職業奉仕委員  
杉森 地区財団委員  
■定例理事会

### 2020-21年度国際ロータリー第2660地区 地区大会

2020年12月12日(土) グランキューブ大阪(大阪府立国際会議場)

13:00～会長幹事会 14:00～本会議開会 17:30 本会議閉会

※今年度は新型コロナウイルス対策のため入場制限あり 地区ホームページよりライブ配信!

## 会長の時間



初木 賢司 会長

本日の例会は、社会奉仕委員会主催で、くずはRC単独での献血活動で早朝より活動されており、会員の皆様方にも献血へのお声掛けをお願いすべく、このように例会場を変更しての移動例会を開催させていただきました。会場の設営には親睦委員会の皆様方のご協力を頂きありがとうございました。そして卓話には、大阪府赤十字血液センター北大阪事業所事業課の岡田主事より献血のお話を頂く事になっておりますので、宜しくお願いたします。

さて、先日10月10日土曜日の午後より、地区公共イメージ向上委員会主催のセミナーが開催され、ハイブリット型委員会（会場参加・LIVE配信）ということで、LIVE配信にて、川上委員長と私が、14時から16時40分の2時間40分の間、聴衆参加いたしました。Withコロナの時代での奉仕プロジェクトの考え方などの説明もあり、マスコミで取り上げられた事例なども紹介され、病院の医療従事者へ200本のバラにメッセージを添えて1か月間寄贈展示されるといった、心に残る奉仕プロジェクトもある事と言うにも気付かされました。また、ロータリアン一人一人が広報マンと理解していただき、知人や友人、そして地域などにロータリーを知って頂きたいとのこと。FacebookやTwitterなどのSNSを通しての発信も重要なTOOLとなりますので、本日の献血活動も発信していただければ広報活動につながると思います。

そして、My Rotaryへの登録です。3年前の山本ガバナーの時には登録率60%を目標にされていましたが、今後100%はもちろんです、当面は80%を目標にされているそうです。因みに、IM3組14クラブの内80%達成は1クラブだけで98.8%の我がくずはだけです。新入会員はもちろんのこと100%を目指し頑張りましょう。簡単な説明になりましたが、本日の会長の時間とさせていただきます。ありがとうございました。

## 卓話「献血について」大阪府赤十字血液センター北大阪事業所 岡田知教 様



岡田 知教 様

大阪府赤十字血液センター北大阪事業所の岡田と申します。初木会長をはじめとするくずはロータリークラブの皆様、この度は例会にて卓話をする機会をいただき、またコロナ禍のなか樟葉駅前での献血活動にご協力いただきまして誠にありがとうございます。今回は3点に絞って献血についての説明いたします。

まず1点目は、輸血はなぜ必要なのか、ということです。『輸血』と聞くと多くの方が、交通事故などで大量出血した場面で1番必要なのではないかと、思い浮かべるかと思えます。しかしながら、実際にはがんや白血病などの病気の治療に使用される（＝定期的に輸血が必要となる）場面が全体の8割程度を占めております。また、輸血される患者様の8割が50歳以上の方となっております。このことから、大阪府内だけでも400ml献血で毎日820人分ものご協力が必要となっております。

次に2点目として、献血の今後の課題ですが、少子高齢化の中で10～30歳代の若年層の献血者がどんどん減少している、ということです。現在、献血にご協力いただいている方を年台別で分けると、40～60歳台のかたのご協力が多くなっております。献血には年齢制限があり、現在の基準では最長69歳までとなっております。若年層の献血協力を強化しなければ、将来献血する人が減ってしまい、輸血用血液を十分に確保できなくなるのではないかと考えられております。そのような状況を回避するためにも、今のうちから若年層に献血の重要性を訴えていく必要があります。

最後に、新型コロナウイルス感染症の影響についてお話させていただきます。3月頃から、在宅勤務や休校、感染防止対策などにより、企業や学校、イベント会場での献血実施のキャンセルが相次ぎました。特に、緊急事態宣言が発令された4、5月においては昨年度と比較して各月約2,000人も献血者が減少してしまいました。緊急事態宣言は解除されましたが、依然として新型コロナは各地で猛威を振るっており、献血にも影響を与えております。お一人でも多くの皆様に献血にご協力いただき、患者様の尊い命を救う手助けをしていただければと存じます。



<献血結果報告> 2020年10月21日(水) 献血受付数50名 採血数 43名 (400ml 42名 200ml 1名)  
会員の皆様、ご協力ありがとうございました！ 社会奉仕委員一同